

## 高校図書館による企画

## ここがポイント！ 高校図書館

### 1. 企画主旨

高校図書館部会の今年の企画は、昨年の企画を引き継ぎ「ゆっくり本を眺めながらカフェを楽しむ」と、参加者が楽しめる「参加型イベント」の2本立てで準備をすすめた。

県内各校から提供してもらった「これぞ！」という資料や写真を展示し、高校図書館の様子や現状を見ていただくこと。さらに、本を参考にしたイベントやお楽しみで、このようなことができますよと、おりがみツリーの実演やスタンプラリーを実施した。

このように、高校図書館ならではの真面目さと楽しさを併せ持つ企画を通し、高校図書館や司書の取り組みを県民のみなさまに見ていただきたいという思いを込めた1日であった。



### 2. 運営

今年も、埼玉県高等学校図書館研究会（埼玉高図研）で実行委員を募り、6人のメンバーを中心に企画を進めた。

実行委員会は6回開催、会場となる桶川市民ホール内プチホールは3度目の利用となるため、過去の経験を活かした会場準備をすることができた。前日の会場設営と当日には、協力スタッフとしてのべ15名の高校司書が加わった。

### 3. 企画の詳細と当日のようす

#### ① 高校図書館の春夏秋冬



4つの季節に対応しながら、図書館の一年間の様子を表現した展示企画。

「オリエンテーション」「芸術鑑賞会：歌舞伎」「授業利用」「クリスマス展示」は、行事や授業と連動し、高校図書館でも積極的に行っている展示である。サンタクロース&トナカイに扮した「コバトン」ぬいぐるみが圧倒的な存在感を放っていた。

#### ② 愛され本・高校図書館版



各校の生徒・教職員にオススメ本のPOPを書いてもらい、本と共に展示。話題の本、趣味の本など現役高校生が紹介したい64冊の本がカフェテーブルに置かれた。

手書きのPOPには、イラスト付きの物もあり、高校図書館をリアルに再現していた。

#### ③ 絵本・新聞バッグプレゼント



一昨年は新聞エコバッグのみ、昨年は絵本の表紙バッグを追加、今回はさらにカレンダーバッグを追加と、年々種類が増え、バラエティに富んでいくエコバッグ。来場者に1人1点プレゼントとしたが、大きさ・デザインが豊富で「選ぶのに迷ってしまう！」と来場者に言わしめた企画。合計400個ほど用意したが、ほぼ完売状態であった。これらのバッグは、新聞・絵本の表紙・カレンダーの提供・製作を高図研内で協力を呼びかけ、夏前から準備に取り掛かった。今年は、資料が入るサイズや絵本バッグが好評だった。

#### ④ 高校図書館紹介&広報紙大集合



「高校図書館紹介」は昨年配布した5種類のLibraryNAVIを改良して配布。また高図研年報を元に、高校図書館の現状を伝える統計「高校図書館ってどんなところ？」を作成。年間受入数・貸出冊数など、県内高校図書館のデータを分かりやすく掲示した。

「広報誌大集合」は、各校が発行している広報紙を展示、お持ちかえりいただけるものを数部用意したが、早い時点でほぼなくなった。広報誌は各校の司書や図書委員が作成しており、イラスト多用・4コマまんが・本の紹介が多めなど、各校さまざまな特徴があり、並べてみるととても興味深い。

#### ⑤ 埼玉県推奨図書コーナー



県の青少年課が毎年、読書週間に向け選ぶ推奨図書。こちらを年代別にPOPをつけて展示。乳幼児から高校・青年向けまでの幅広い対象年齢が来場者の興味を引き、オススの絵本を尋ねる姿もあった。

#### ⑥ イチオシ本コーナー



埼玉県高校図書館司書が選ぶ「イチオシ本2012」の展示。1位に選ばれたのは、講演者・原田マハさんの『楽園のカンヴァス』。ここ数年、有志の間で行われている「イチオシ本」だが、2013に選ばれる司書のオス



高校図書館による企画

スメはどの本であろうか？

⑦ おりがみツリーを作ろう



滞在型の体験企画として、クリスマスという季節にちなみ、おりがみでツリーを折ってもらった。5分程度で完成する、可愛いミニツリー。混雑時には、立って折る人もいるほどの繁盛ぶり。持ちかえって自校でも、という図書館関係者の姿も多くみられた。

⑧ カフェコーナー&デコチョコ



愛され本テーブルで、本を眺めながら座って、セルフサービスのドリンクで一休み。そんな憩いの場所を片隅に設けた。デコチョコとは、オリジナルチロルチョコを指し、今回はコバトン柄など6種類をデザイン。埼玉県のマスコットなので、とても喜ばれた。ガラス面のステンドグラスは熊谷女子高校図書館委員会作成。

⑨ スタンプラリー

各展示を巡ってもらうための体験企画。年配の方から子どもまで、様々な年齢層の方楽しんでいただけた。

4. 原田マハ氏著作展示

文学館内ロビー（ガラスケース内）は、高校図書館が力を発揮したもう一つの展示である。原田氏の洗練された作品の雰囲気がまるで1枚の絵画のように表現され、多くの方が足を止めて見入っていた。パレットや額縁などの小物も効果的にディスプレイされ、ご覧いただいた原田氏もとても満足されていた。



5. 参加者のアンケートより

- ・たくさんの学校司書の方が、それぞれ職場で、心を込めて頑張っているのが伝わってきました。
- ・今の高校生の興味がわかって、参考になった。

6. おわりに

上記のアンケートから読み取れるように、高校図書館のPR、司書の取り組みを周知したいという狙いは実現できたと思う。反省会を終えた今、まだまだ課題は残るが、「図書館と県民のつどい埼玉 2013」を盛り上げる一助となった達成感を、実行委員一同感じている。最後に、ご協力いただいた高図研各校の皆様、本当にありがとうございました。

